

科 目 名	応用生活支援技術Ⅴ(ターミナル期)【介護福祉コース】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	深 川 友 子						
開 講 年 次	3	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必 修 (介護)
授業の概要 及びねらい	ターミナル（終末）期について、利用者および家族に対する支援（介護）について概説する。また、睡眠（安眠）・安楽・安寧の意義を説明し、ターミナル（終末）期の心身の変化、適切な対応・支援（介護）の方法について説明するとともに看取りの時・後の身体のケアの方法を指導する。						
授 業 の 到 達 目 標	1）ターミナル（終末）期についての説明ができる。 2）自身の死生観について述べることができる。 3）ターミナル（終末）期の心身の変化について、特徴を述べることができる。 4）ターミナル（終末）期の利用者、家族への支援について説明することができる。 5）ターミナル（終末）期における生活支援ができる。 6）ターミナル（終末）期の具体的なケアの方法について工夫することができる。 7）安楽・安寧・安眠への支援のために福祉用具を活用することが出来る。 8）看取りの後の身体のケアについて説明することができる。 9）他職種との連携・協働のあり方を理解できる。						
学 習 方 法	基礎知識の講義、実技演習、グループ討議・発表、視聴覚教材の視聴、事前学習としてレポート作成・演習記録をすることを通して学習する。						
テキスト及び参考書等	基礎生活支援技術の授業で使用した教科書を継続使用する。必要時参考資料を配布する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎		◎		50	
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎		◎		10	
授業態度				◎	◎	10	
受講者の発表	○	○		◎	◎	10	
授業への参加度				◎		10	
その他	◎	◎		◎	◎	10	
	グループワーク						
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	ターミナル（終末）期とは						
第 2 週	ターミナル（終末）期の理解①身体の状態						
第 3 週	ターミナル（終末）期の理解②精神・心理状態						
第 4 週	ターミナル（終末）期の理解③家族の状態						
第 5 週	ターミナル（終末）期の安楽・安寧・睡眠について						
第 6 週	安楽・安寧・安眠の支援						
第 7 週	ターミナル（終末）期におけるアセスメントの視点						
第 8 週	観察とバイタルサイン						
第 9 週	ターミナル（終末）期における介護の役割						
第 10 週	ターミナル（終末）期の支援①苦痛の緩和						
第 11 週	ターミナル（終末）期の支援②他職種との連携・協働について						
第 12 週	ターミナル（終末）期の家族に対する支援						
第 13 週	看取り時・看取り後の身体ケア						
第 14 週	スピリチュアル・ケアの必要性（遺族のケア（グリーフケア））						
第 15 週	まとめ（筆記試験を行い、基礎知識について確認・解説）						
第 16 週	実技試験を受け、技術の習得状況を自己評価し、今後の学習課題を明確にする。						
備 考	講義・演習を通して「生きること」「死ぬこと」について考える姿勢が求められる。						